

桃通での学習の進め方について

I. 桃谷通信ってどんな学校……？

一言で言うと、「自由な学校」

◎重要なことは自学自習→→→自分で学習スケジュールを組み、計画的に学習を進めていくこと

II. 卒業するには……？(学習のしおり P.13 参照)

◎3年以上在籍！（以前通っていた高校の期間も含めて）

◎必履修科目を含む、74単位以上！

◎特別活動で年間10時間以上！

《A系列(HR系)、B系列(学校行事系)、C系列(生徒会やクラブ活動など)の3種類あります》

- | | |
|---|---|
| { | 1年で卒業できる人……A 系列:3時間/B 系列:3時間/合計10時間 |
| | 2年で卒業できる人……A 系列:6時間/B 系列:6時間/合計20時間(2年間で) |
| | 3年で卒業できる人……A 系列:10時間/B 系列:10時間/合計30時間(3年間で) |

III. 学習はどうやってすすめる……？(学習のしおりP. 6~10 参照)

☆自学自習の報告課題(レポート)と、週3日の面接指導(スクーリング)、そして各範囲末の定期試験(テスト)をしっかりこなす

→〈**学習完了日**〉を目標に、レポートやテストに取り組みましょう！

→最終的にレポート・スクーリング・テスト(R/S/T)の3つの要件をクリアすることで、単位ゲット！！！！

①レポート(R/報告課題)について(学習のしおり P.7)…学習の基本

それぞれの科目のレポートを**すべての範囲ごとに合格**する。(提出だけでは×)

※レポートの枚数は、科目によって異なります。

※レポートの表紙には大事なことが書かれていますので、必ず読みましょう。また、表紙は捨てずにとっておきましょう。

※提出するときは、バーコードシールを貼り、レポート添削担当の先生の名前、自分の住所、氏名を必ず記入すること。

※それぞれのレポートには「提出期日」が決まっているものがあります。計画的に学習を進める意味でも、提出期日を守りましょう。

※各範囲のレポート期限(日付は学習のしおり P.2~4で確認を)までに合格しなければなりません。

※学習期限の過ぎたレポートは「合格」できません。単位を取ることができなくなります。

※「再提出」になったらすぐにやりなおし、「合格」するまで提出しましょう。

※テストを受けるためには、レポートを合格(または提出)していないといけません。

※レポートはあなたの分身です。あなたの代わりに学校で添削を受けます。他人のレポートを写したりせず、自分の力で完成させましょう。

②スクーリング(S/面接指導)について(学習のしおりP.8・9)

それぞれの科目で決まっている「年間必要時間数」以上出席する。

※「年間必要時間数」は科目によって異なります。→「開講科目情報一覧(学習のしおりP.12・13)」を確認しましょう。

※スクーリング日程表(別紙プリント)を見て、出席の計画をたてましょう。

※持ち物は、【筆記用具・バーコードシール・教科書等・レポート】です。その他、実技科目によっては追加の持ち物が必要な場合があるので、レポートの表紙等で確認しましょう。

※出席したスクーリングの「出席カード」等に、自分のバーコードシールを貼りましょう。

※学習を深めるためには多くの出席をお勧めします。

③テスト(T/定期試験)について(学習のしおりP.10)

…試験の受け方は第1範囲最後のHRで説明します。

試験を実施している科目を全ての範囲で受け、**年間で平均40点以上**取る。

※試験はそれぞれの範囲ごとに受験すること…「定期試験時間割表」

→定期的に送られてくる「桃谷通信」や学校HPなどで日程を確認できます。

※本試験で受験することが原則ですが、どうしても都合が悪い場合は別の日に受験できる。→「追試験」

※テストの点が悪くても、科目によってはもう一度受けることができる。→「再試験」

Column●単位の「修得」と「履修」について(学習のしおりP.6)

◆「修得」…①レポート→すべて合格

②スクーリング→必要時間数以上に出席 } ①・②・③の条件をすべて完了すると修得

③テスト→平均40点以上

◆「履修」…①のレポートの条件のみ完了すると履修。→単位は「0」

→必修履修科目では、「履修」でもOK!(ただし、「74単位」には加算されない…)

IV. 学校に来たら……?

◎スクーリングは【昼間部】**奇数番**5月13日(月)／**偶数番**15日(水)、【日夜間部】13日(月)から開始です。

① 2階 職員室前の(クラス黒板)を確認、連絡がないかチェックする。

② 提出するレポートのある人は、2階職員室レポート提出箱に入れる。

③ 2階か6階のスクーリングボード(エレベーターホール)やディスプレイをチェックする。

→教室などの変更がないかを確認

④ 自分の出席したいスクーリングに行く。

⑤ スクーリングの出席は、出席表に名前を書く(もしくはバーコードシールを貼る)ことで完了。

※水曜日の放課後は、クラブ活動があります。興味がある人は、2階中央階段横掲示板を参考の上、顧問の先生に声をかけてみましょう。

☆1範囲の始めのうちは混雑防止のため、通信番号の偶数奇数で出校日を分けていたり、同じ科目のスクーリングでも教室指定がされている場合があります。その場合はその教室でスクーリングを受けてもらうのが望ましいですが、絶対ではありません。また、自分のとっている科目が同時刻にスクーリングがある場合があります。「年間出席時間数」を参考にしながら、スクーリングに出ましょう。